

避難生活の**自助**・**共助**・**公助**で有効な

どこでも発電[®]

と

どこでも蓄電[®]

防災対策・災害対策を考える上で、「自助・共助・公助」という、災害時等にそれぞれの役割を明確にし、お互いに補完し合う概念があります。中央防災会議の最終報告では、自助の期間が3日間から7日間に延長されました。企業におけるBCP対策や、マンションにおけるMLCP対策の整備も緊急の課題です。この概念を基に、オーエスは防災/減災に役立つ「電気」を確保するためのバッテリー&ソーラーを、組織単位・使用場所・用途によりご提案いたします。

自助用製品

▶P.5~6



一般家庭・事務所等



もっとも小さな組織である、
家族や小規模の事務所などで、
自らの命は自らが守ること、
または備えること。

共助用製品

▶P.7~8



自治会・マンション管理組合・企業等



自助が集まってできる地域や
組織、近隣が互いに助け合って
地域や組織を守ること、
または備えること。

公助/公共用製品

▶P.9~14



学校・自治体・消防・自衛隊等



市・区をはじめ警察・消防・
ライフラインを支える
各社による
応急・復旧対策活動。